

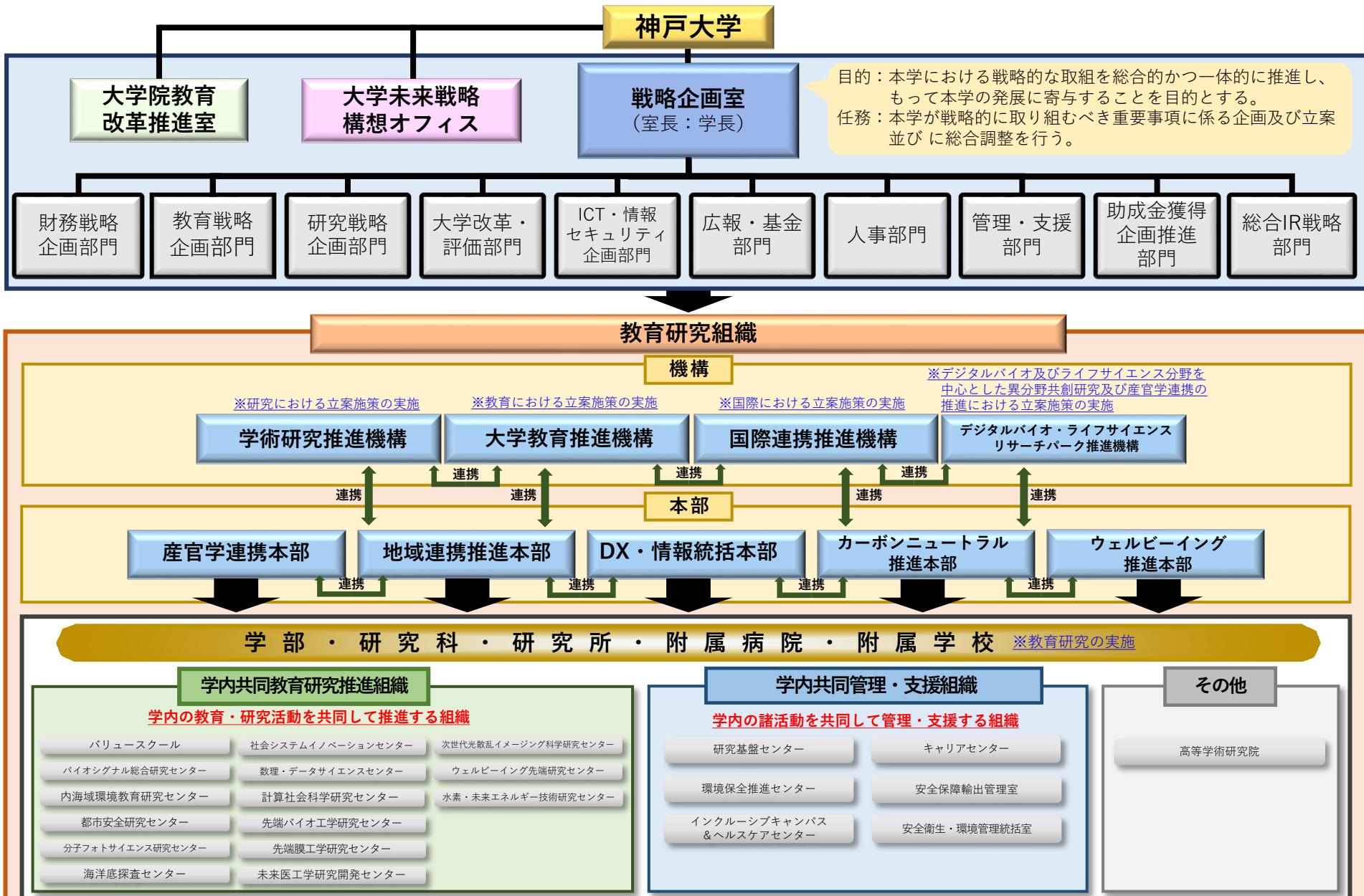
# ガバナンス体制

神戸大学の教育・研究を支え、機能強化を推進するために、適切な事務組織・体制の整備や人事システムの構築などガバナンス体制の強化を行っています。

## TOPIC

学長直下の組織として「大学未来戦略構想オフィス」「大学院教育改革推進室」を設置しました。（→P.146「大学未来戦略構想オフィス」P.147「大学院教育改革推進室」）

## 機能強化を推進するための体制



# 大学未来戦略構想オフィス

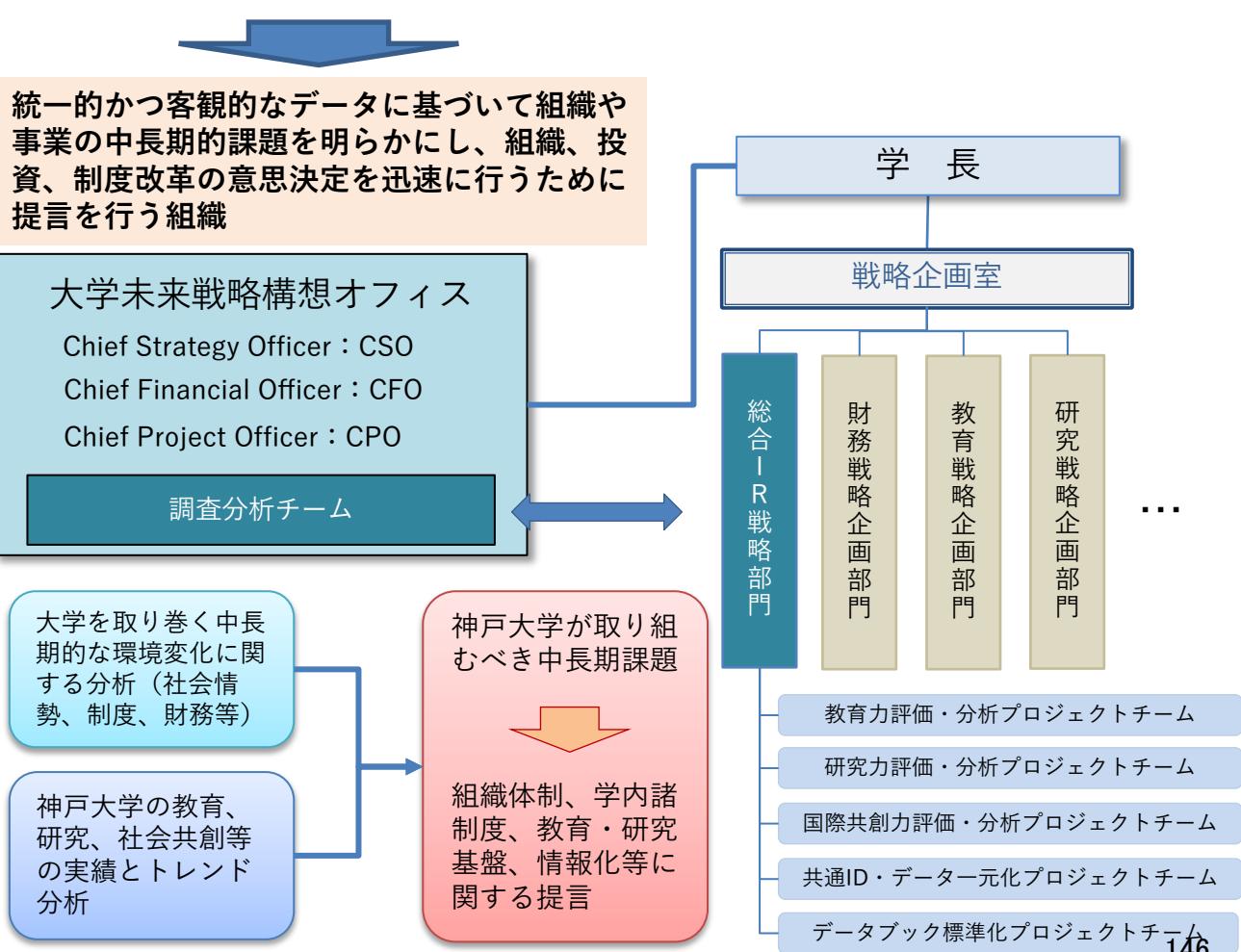
■社会的課題解決に向けた大学の役割はさらに大きくなってきており、研究力、教育力、社会共創を一段と強化するため、より長期的・総合的な観点から組織、体制、研究・教育基盤整備の検討が必要。

■大学経営において、運営費交付金への依存度が低下する中で、近年の人員費や物価の上昇のスピードは著しく、大学の持続可能性を高めるため、戦略的に「知」「人材」「資金」の好循環サイクル（イノベーション・エコシステム）を検討することが必要。

■外部資金の規模が拡大した分、関係する組織や取り組みの相互補完性はこれまでになく複雑になっており、それらの関係を全学的な観点から整理・調整しながら投資対効果を最大化していくマネジメントが必要。

## 大学未来戦略構想オフィスの役割

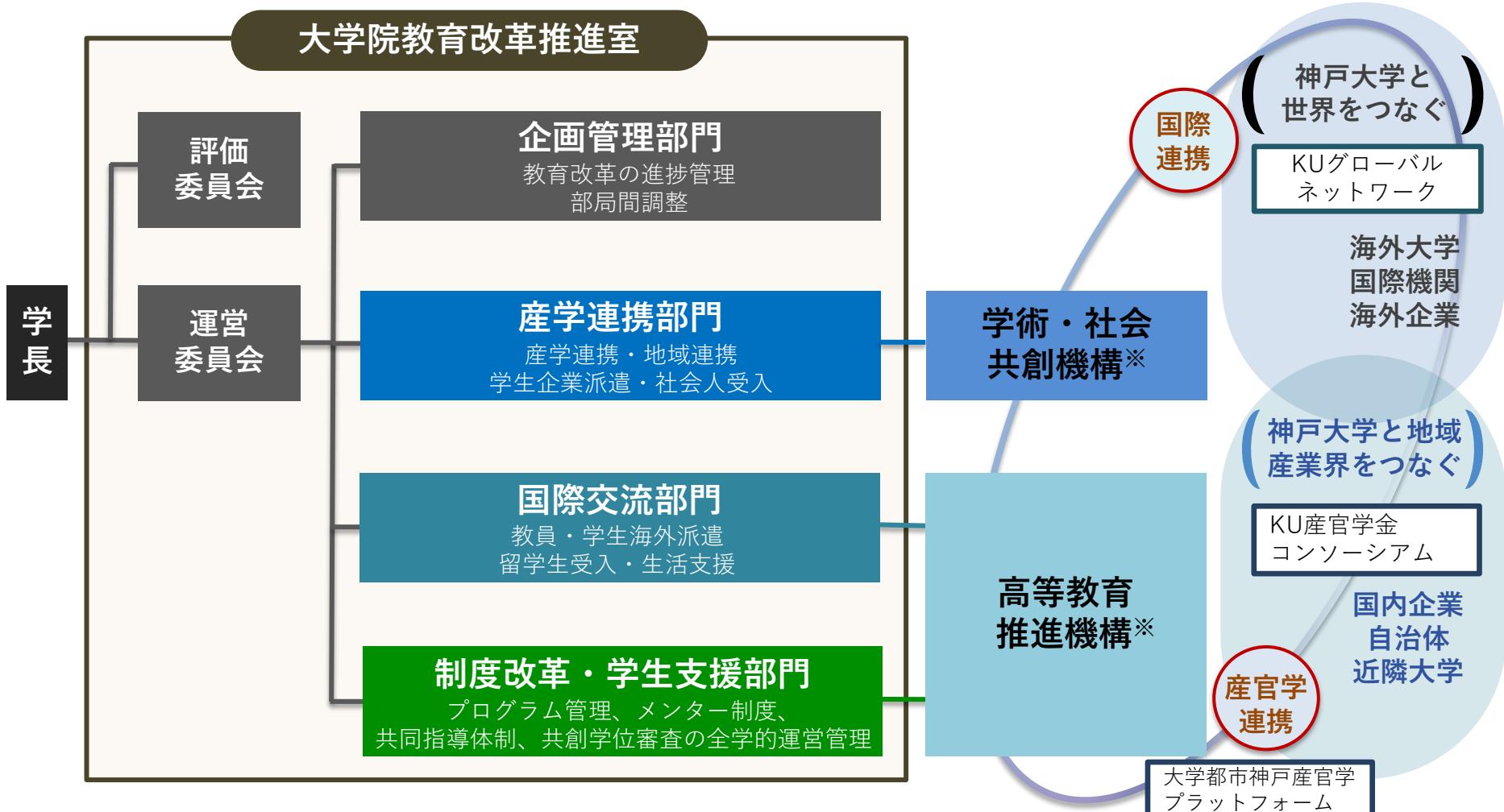
- 研究力、教育力、産官学連携、国際化、地域・社会貢献の実態を明らかにし、全学的観点、長期的な観点から大学の在り方を検討するための基礎的資料を収集・整理・分析し、学長ならびに戦略企画室各部門に対して報告・提言・調整を行う。教育、人事、財務関連のデータと関連付けることで新たな分析の可能性について検討する。
- 次世代の優秀な博士人材、若手研究者や女性研究者の育成、世界トップレベル研究者の確保と研究環境の整備等への投資、次世代のフラッグシップとなる研究領域の創出、イノベーションが持続的に創出されるイノベーション・エコシステムの確立・強化、教育・研究の国際化、情報化等の全学的戦略課題について、中長期的な方向性を検討する。
- 人的・財務的経営資源、中期財務計画と関連付け、全学資金循環の観点から分析し、大学経営資源配分最適化に資する提言を行う。



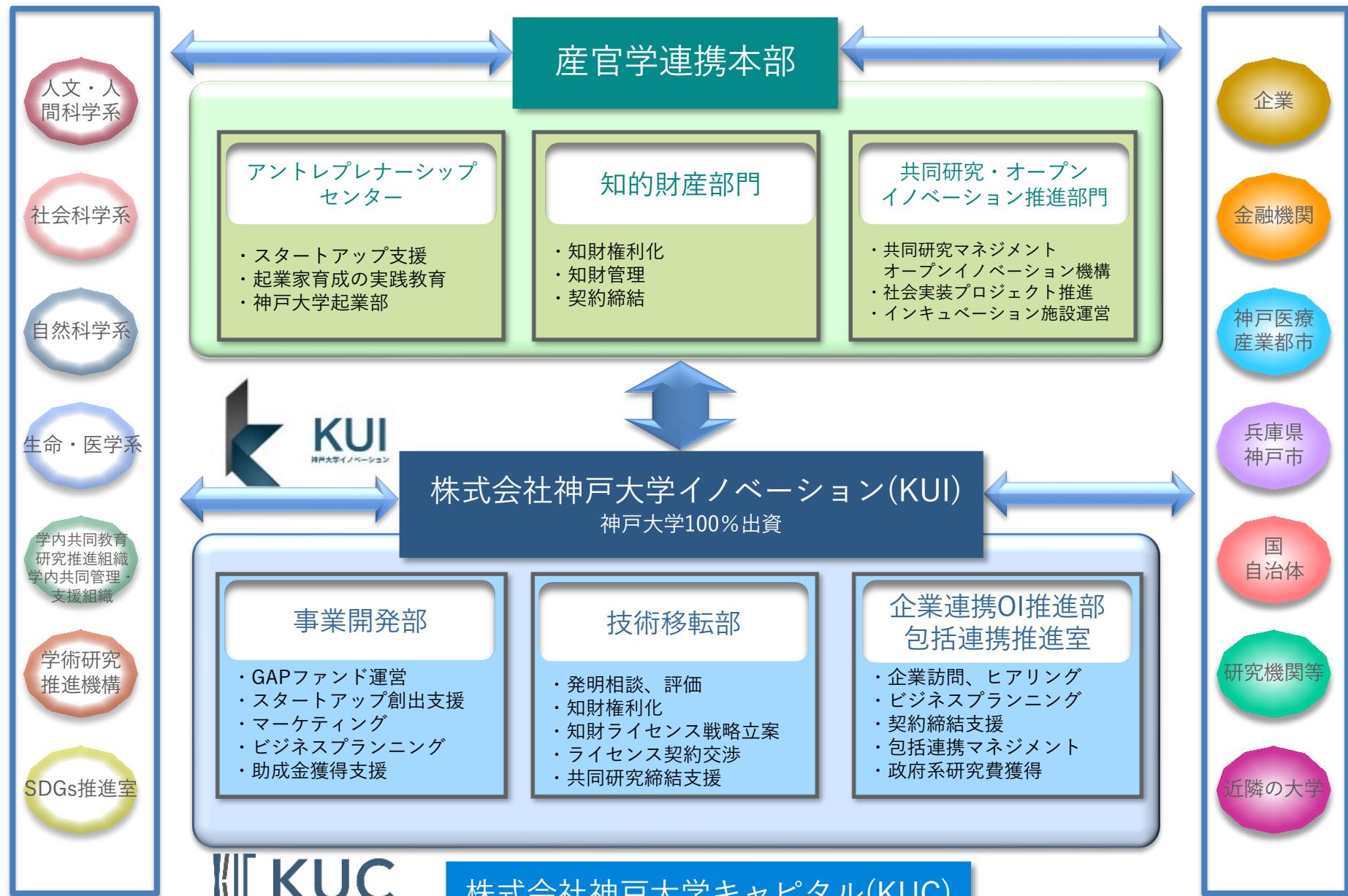
# 大学院教育改革推進室



大学院教育改革の迅速かつ確実な遂行、更に大学院修士課程及び博士課程の修了者の増加を実現するため、本学における大学院教育改革を主導し、その進捗を管理する。



## 産官学連携本部体制図



# 異分野共創型の地域連携事業の展開構想 ～地域連携推進本部の体制～

## 本学の地域連携機能強化の沿革

H15  
文学部・医学部保健  
学科・農学部  
地域連携センター  
設置

H15.10  
地域連携  
推進室設置

### R 3.10 地域連携推進 本部設置

大学全体の地域連携活動の  
把握により、学外と学内との  
窓口機能を一層強化

## 本部の目的

- 自治体等と連携し本学が有する  
人的・物的資源を活用し
- 個性豊かな地域社会形成支援
- 地域課題の解決を図り、地域の  
発展に貢献

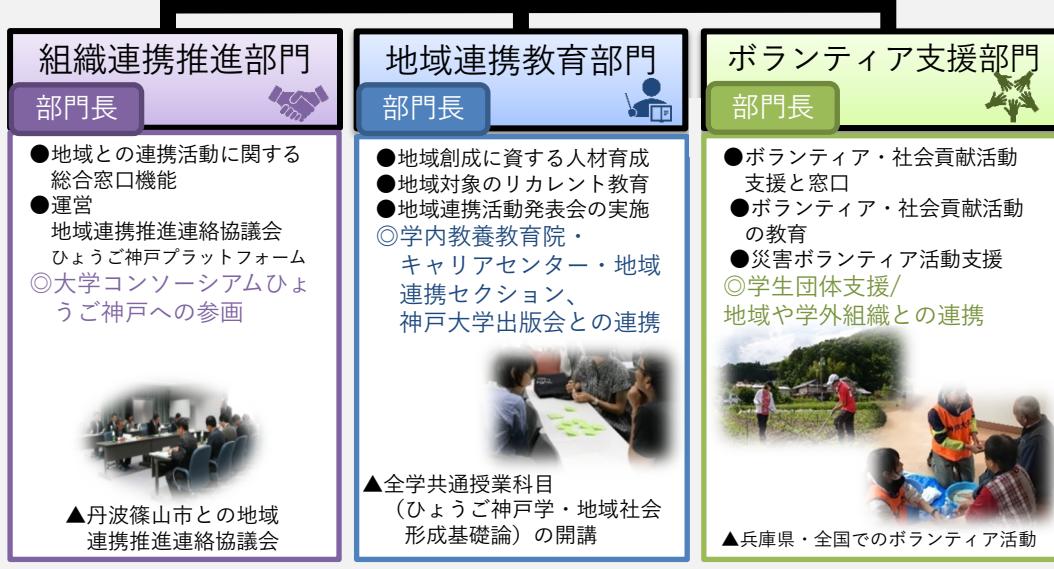
## 本部の業務

- 魅力ある地域づくりへの協力
- 本学と自治体等との連携事業の推進
- 本学の地域連携の組織的取組への支援
- 「地域連携推進連絡協議会」の運営
- 地域との連携窓口として連絡・調整
- ボランティア・社会貢献活動への支援

## 異分野共創型の地域連携事業の展開構想

多様な地域社会からなる「日本の縮図」兵庫県において  
**異分野共創型地域連携の全国的モデルを形成する**

- 包括的な協定に基づく持続的な地域連携拠点の拡充を通じて、地域の担い手となる人材を育成
- 国際的港湾都市・神戸市をはじめとする地方公共団体・企業・地域住民等との連携を通じたグローバルな地域社会形成や、阪神・淡路大震災以降の安心・安全、健康の課題に応える異分野共創型の教育と研究を推進



## 地域連携推進連絡協議会の設置 (連携協定締結自治体・団体別)

学内共同教育  
研究推進組織

地方公共団体

学内関連  
教員

地域連携  
推進本部

学内  
学生団体

地方団体  
NPO法人  
各種団体

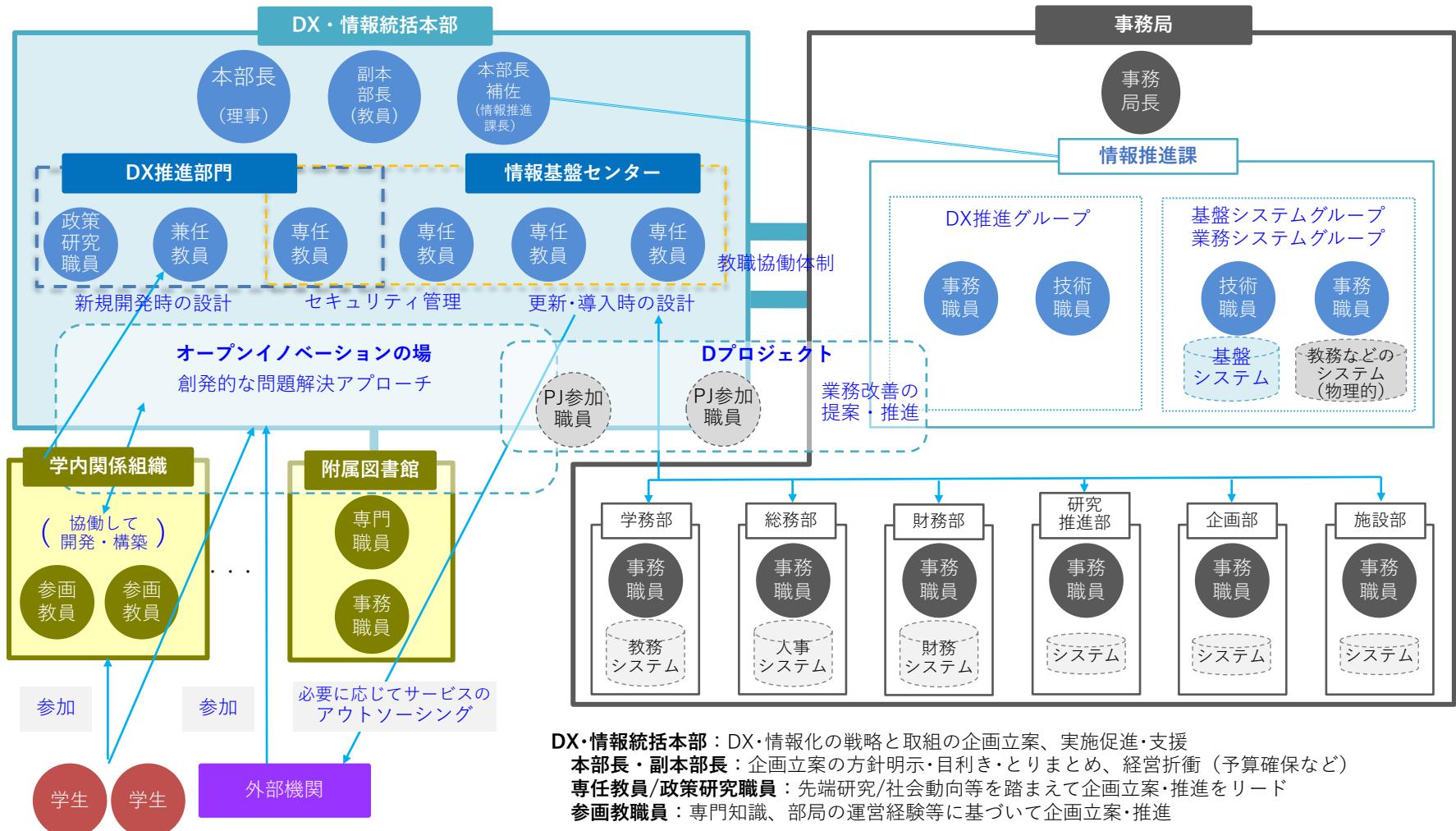
地域住民

関連他大学

関連企業

# DX・情報統括本部 体制図

## DX推進と情報システム基盤整備・運用の中核



# カーボンニュートラル推進本部

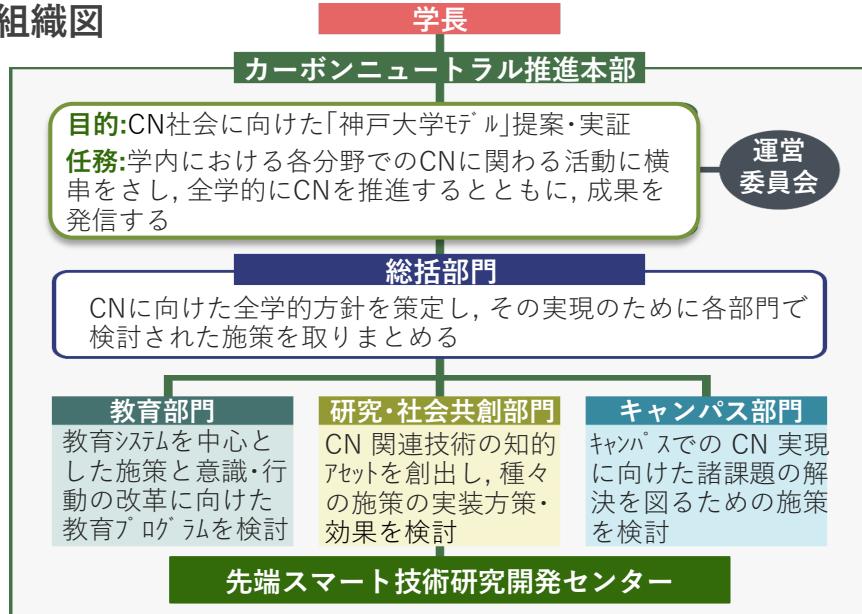
## カーボンニュートラルに向けた全学的取り組みモデルの構築と推進



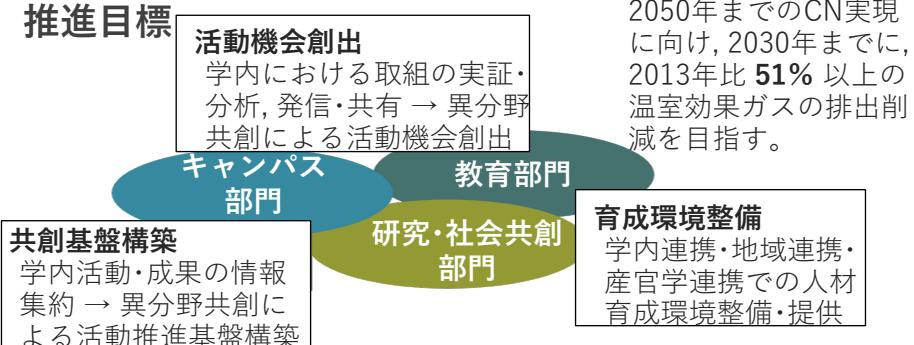
### 概要

カーボンニュートラル推進本部では、教育、研究・社会共創、キャンパスの3部門を置き、カーボンニュートラル(CN)に資する研究の推進、社会実装を想定した地域連携、学内の省エネルギーの推進のみならず、教職員・学生の全構成員がエネルギー・環境に対する理解を高めることで、カーボンニュートラル、さらには持続可能な社会の実現に向けた「神戸大学モデル」の基盤を構築する

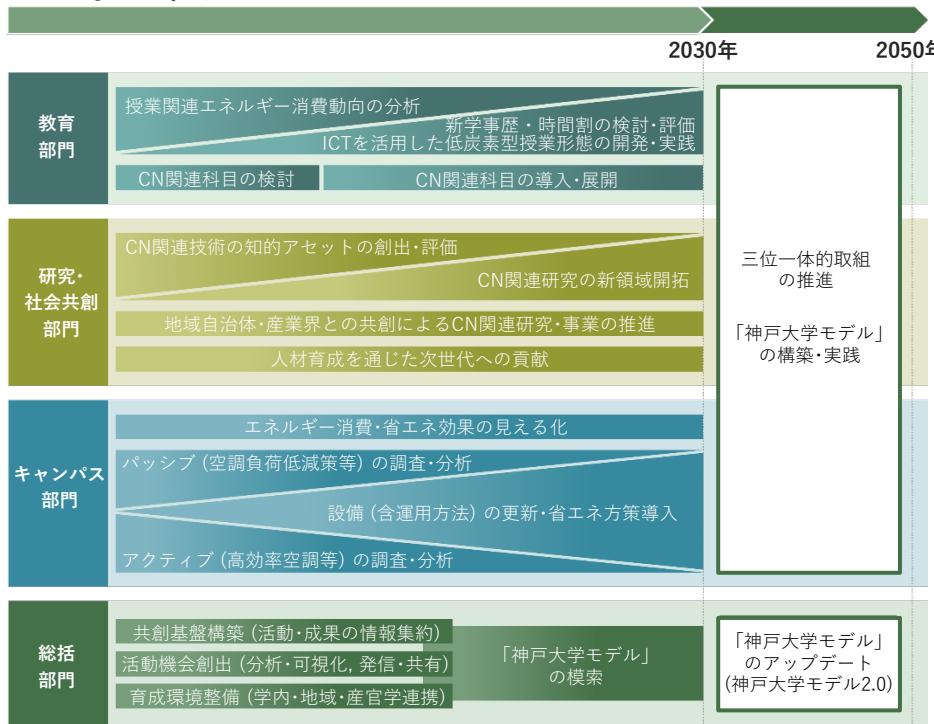
### 組織図



### 推進目標



### ロードマップ



### 取組

「カーボンニュートラル推進本部シンポジウム」を開催し、大学の役割、地域連携のあり方などについて議論しました。(写真1・2)  
キャンパス内の建物ごとの電力使用量を1時間単位で公開しました。



写真1 パネルディスカッションの様子

写真2 アイデアソンの表彰



リンク  
電力使用量

# ウェルビーイング推進本部

学 長

## ウェルビーイング推進本部

運営委員会

趣旨

- 誰でもがウェルビーイングを実現できるような社会の実現に向けたモデルの提案と実証  
→“ウェルビーイング神戸モデル”の構築と推進
- 学内外各分野でのウェルビーイングに係る活動を支援・連携することにより、社会全体のウェルビーイングを高める  
→“ウェルビーイング異分野共創モデル”的発信

### 教育部門

【目標】

- ・ウェルビーイング社会の実現に貢献する学際的人材の育成
- ・神戸大学構成員のウェルビーイング実現

### 研究・社会共創部門

【目標】

- ・人の健康と発達の実現とそれを支える環境を異分野共創により総合的に研究
- ・ウェルビーイングに関するデータベース構築
- ・ウェルビーイング指標の開発と可視化

### 地域連携部門

【目標】

- ・地域社会をフィールドとしたウェルビーイング促進事業の社会実現
- ・地域におけるウェルビーイングに関連する人的・物的資源を活用し地域交流

各部門は相互連携し、全学を挙げてウェルビーイング社会の実現に向けた活動を推進する

### 構成員対象の教育事業

- ・学生・教職員にウェルビーイング教育を提供
- ・ウェルビーイングに関連する共通教育やFD等を開催
- ・全学的な教育システムの構築

### ウェルビーイング先端研究の推進

- ・ウェルビーイング先端研究センターを研究活動の拠点とする
- ・全学のウェルビーイング関連研究のまとめ
- ・異分野共創の新たな研究を創出
- ・種々の施策に実装する方策・効果を検討

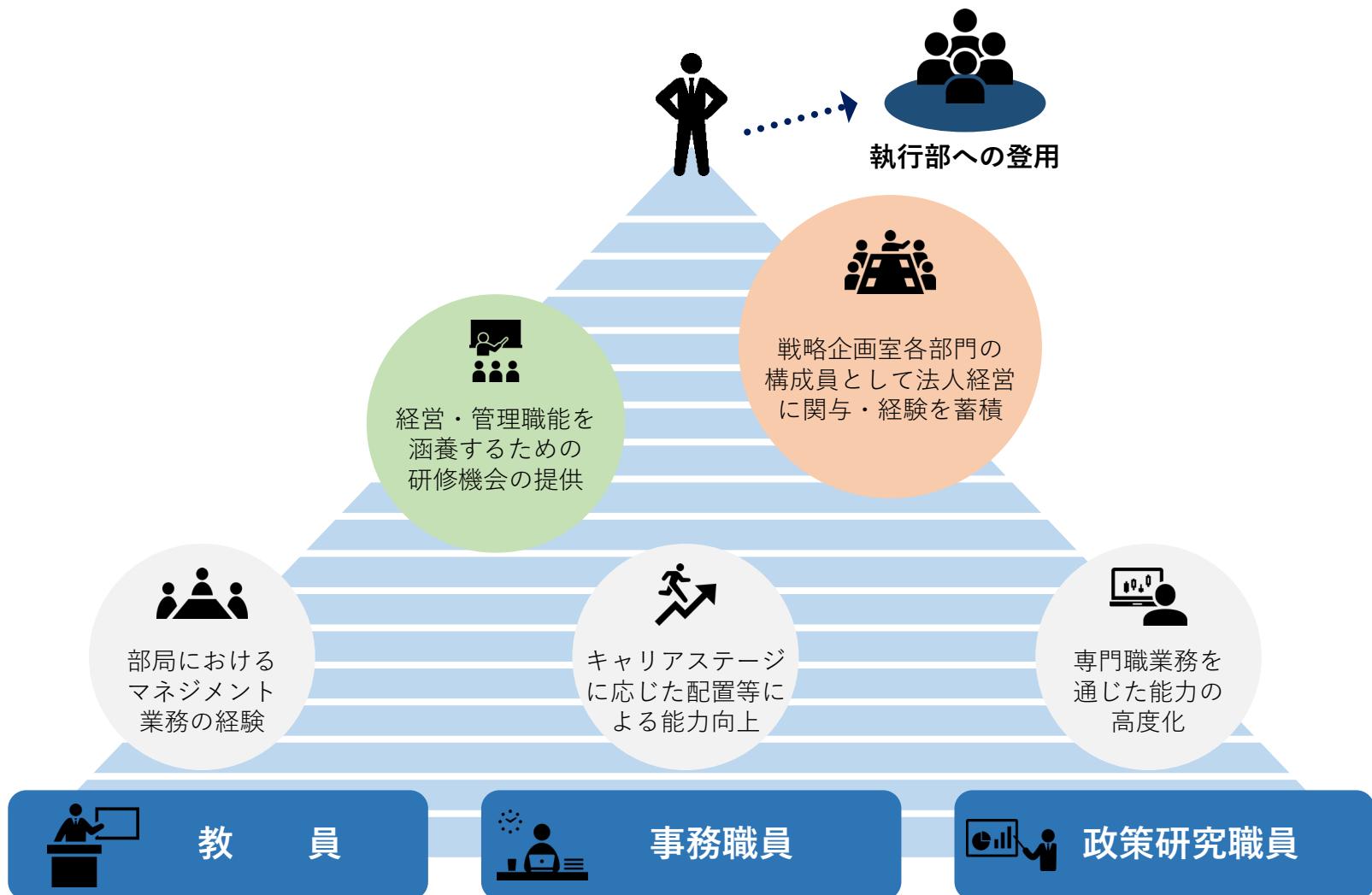
### 地域社会への貢献

- ・ウェルビーイングを通して地域社会と連携し、地域の課題の解決を図る
- ・産・官・民・金融・医療機関・教育機関・国際機関との連携を強化
- ・地域を活性化する地域連携事業の推進



異分野共創によりウェルビーイングを実現し、持続可能な社会をリードする

# 経営人材の育成

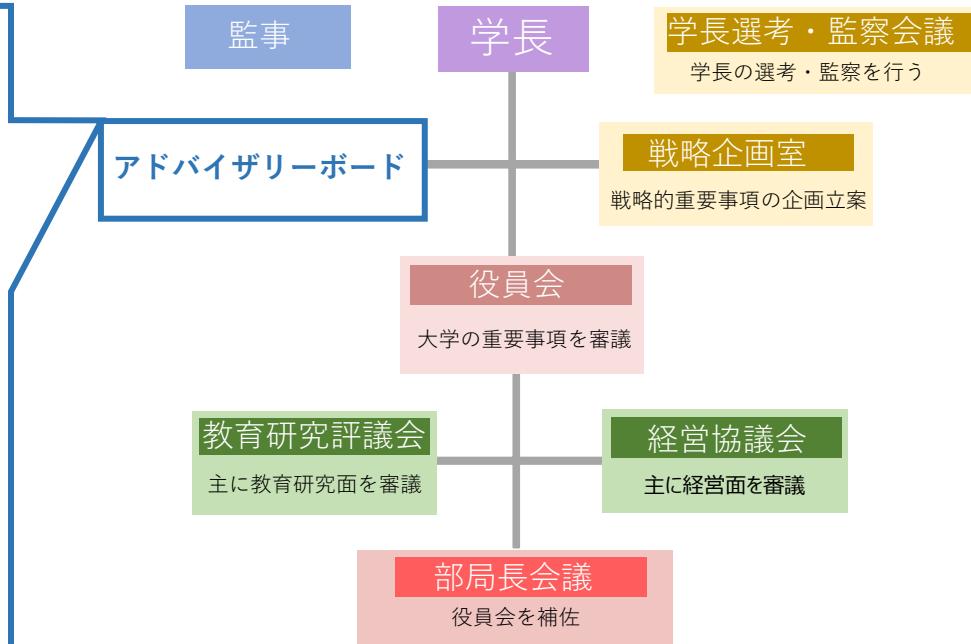


「国立大学法人神戸大学の経営人材育成の基本方針」に基づく  
神戸大学の進化・発展を法人経営の面で支える人材の育成

# アドバイザリーボードを活用した取組

海外を含む外部有識者からの意見・提言など実社会の声を教育研究等に反映させ、教育研究等の質保証と向上を図る

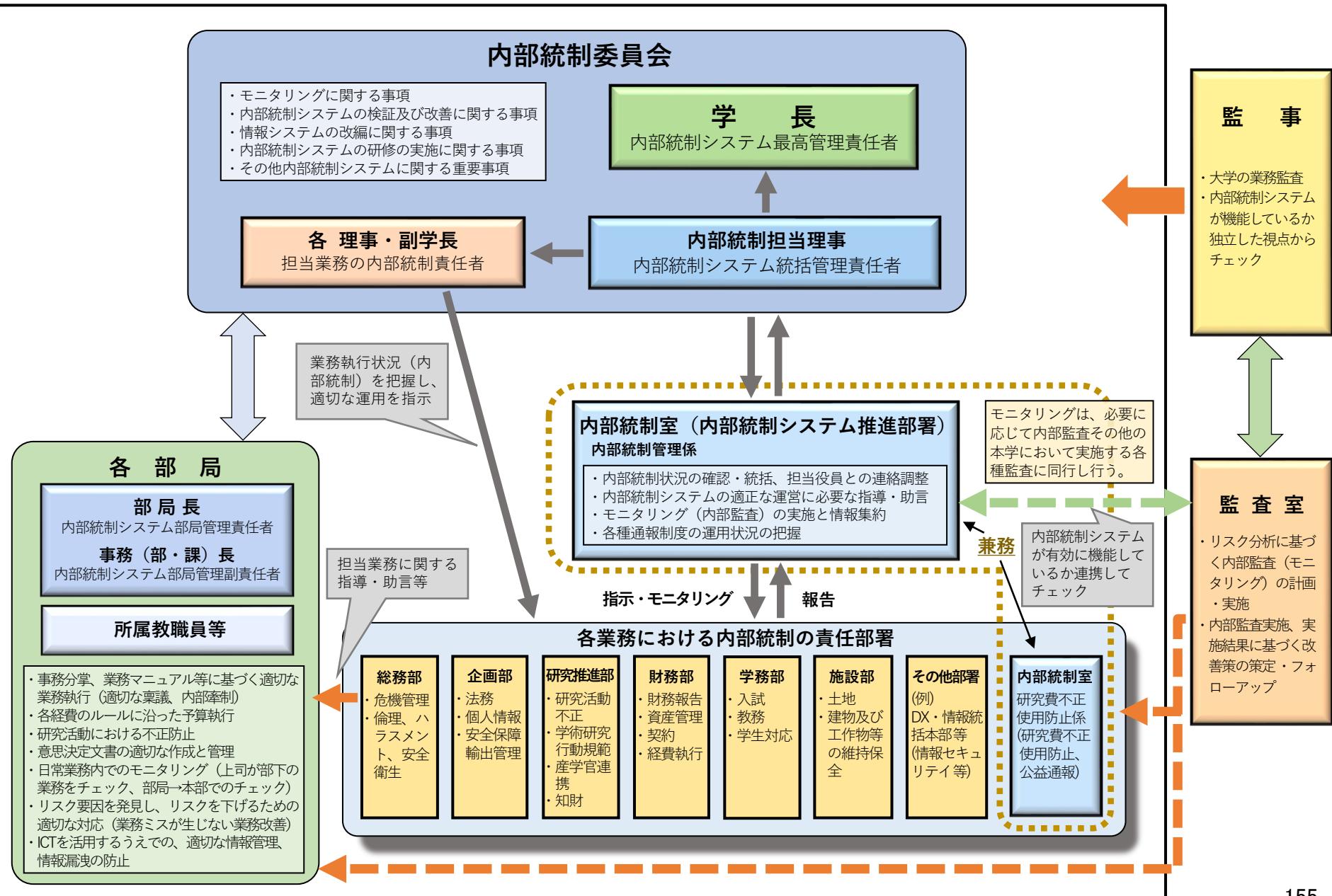
- **目的**  
産業界を中心とした社会の意見を取り入れることにより、本学の教育研究の質向上させ、建学以来の理念である「学理と実際の調和」の実現に寄与
- **役割**  
出口を見据えた産業界の意見、国際水準に基づく社会の意見等を教育研究に反映
- **位置付け**  
「本学の教育研究等に関する事項について、学長の諮問に応じて助言を行う組織」として、学則に位置付け
- **委員**
  - ・産業界 → 経済団体、グローバル企業、地元企業関係者
  - ・学界 → 海外協定大学関係者、国内外の研究機関の関係者
  - ・行政 → 中央省庁、地元自治体関係者



「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」の実現のために、今後、アドバイザリーボードの意見が必要な個別テーマ

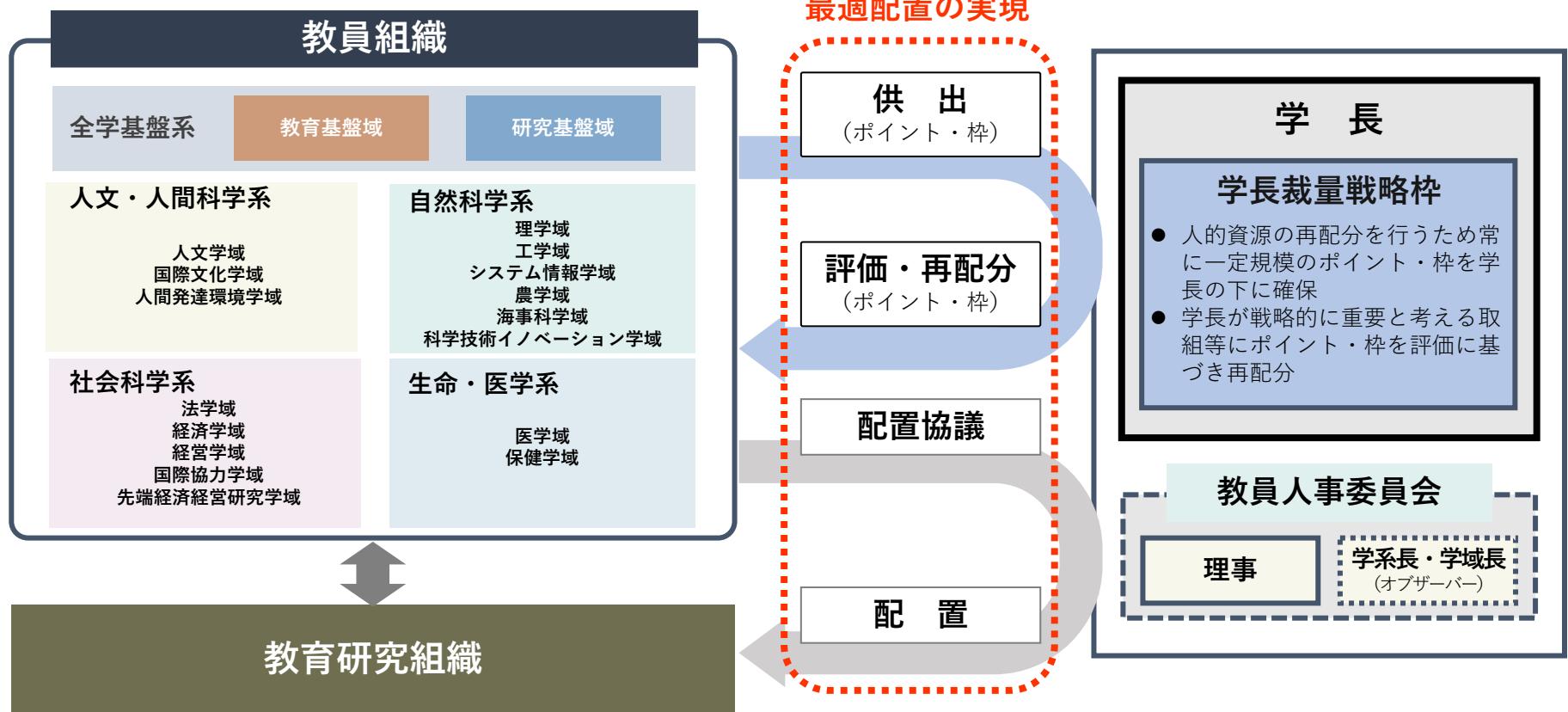
- 超高齢化、ポストコロナ、知識集約型デジタル社会への貢献
- 社会実装できる有能な人材の養成（実践的教育、価値創造教育、数理データサイエンス教育の推進）
- 産業界、自治体等と共に世界を牽引する開かれた卓越研究拠点の構築
- 基礎科学研究、あるいは、地域社会と共にした応用科学研究の遂行
- イノベーションエコシステムの構築
- ダイバーシティ & インクルーシブな環境づくりへの取り組み

## 内部統制システム体制図



# 教員組織・人事システム

重点分野に人的資源を戦略的に配分し、新たな学術領域を  
持続的に創出できる教員組織・人事システム



# 安全保障輸出管理についての機能強化



## 現状認識

- ・大学の安全保障輸出管理での必要事項は、ほぼ全て実施中  
→ 体制整備、学内審査（技術提供/貨物輸出 及び 留学生/研究者の受入れ）、事前確認（学術交流協定/JSPS申請等）、啓発/教育、監査、報告 等
- ・体制構築後10年以上経過し、安全保障輸出管理が教職員へ浸透  
→ 教員の“輸出管理”自体への反発はなくなってきた

国際情勢の変化 機微技術管理の対象は、大学・研究機関にも拡大

- ◆**中国**：軍民融合戦略の下、効率的かつ非対称的に軍事能力を強化
- ◆**ロシア**：ウクライナ侵攻に対し、西側諸国が輸出管理規制/経済制裁を一斉強化
- ◆**米国**：エマージング技術（AI・量子科学等）や先端基盤技術（半導体等）の囲込みを志向

政府の取組方向 経済安全保障を積極的かつ統合的に推進（担当大臣設置 & 推進法成立）

- ◆**経産省**：「みなし輸出」管理強化 及び 輸出者等遵守基準を定める省令改正
- ◆**法務省**：在留資格認定書公布時の輸出管理チェック強化
- ◆**財務省税関**：大学への輸出事後調査実施、本学も神戸税関の調査実施

## 安全保障輸出管理室の機能強化



### 業務の質改善

- ・アドバイザ-照会案件の濃淡管理による重要案件検討時間確保
- ・税関等への対応及び改善

### キャッチオール機微対応

- 特に**中国・イラン**の懸念大学の事例蓄積による機微判定の迅速化・安定化

### 対外活動

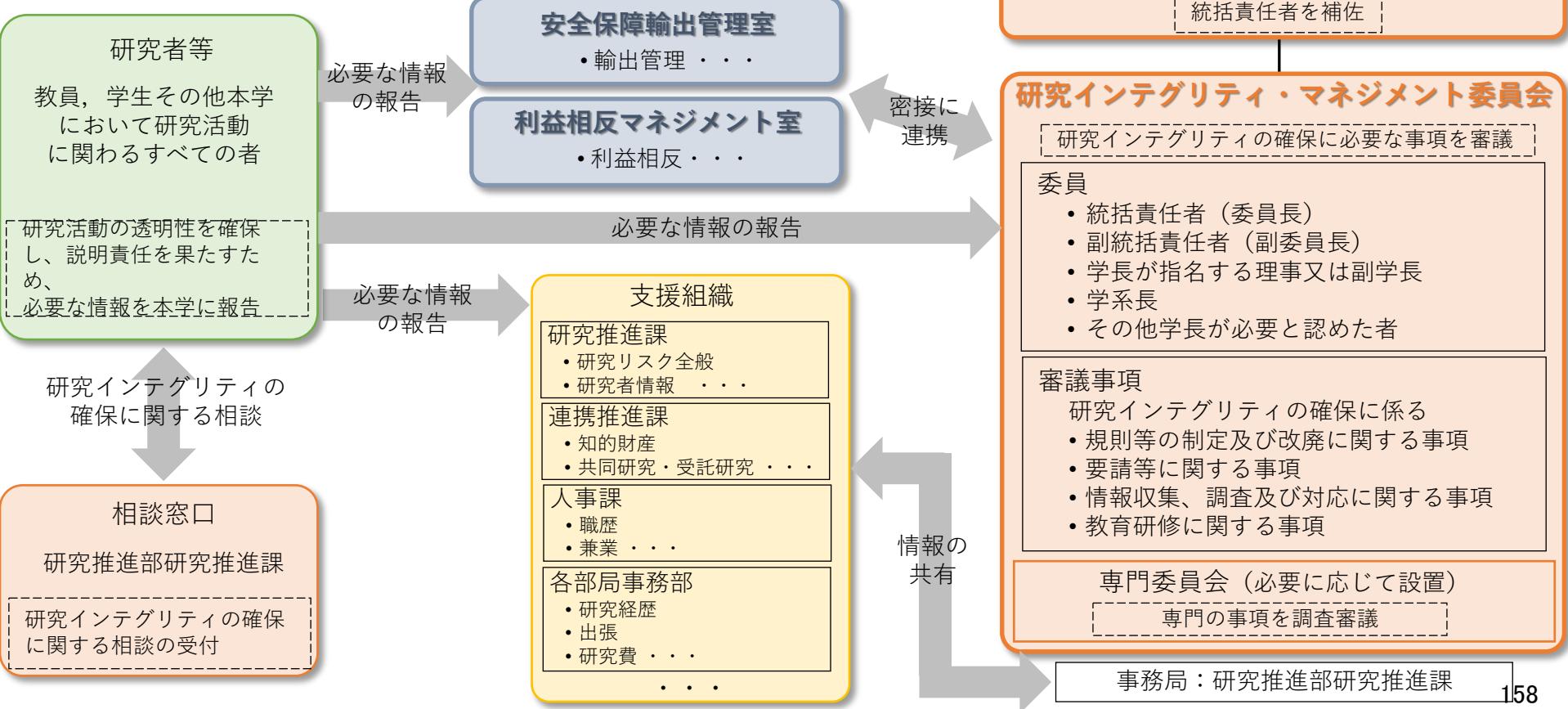
- 規制強化への早期対応など運営改善を目的とする**他大学/経産省**との交流継続

# 研究インテグリティの確保体制の強化

■ 研究活動の国際化、オープン化に伴う新たなリスクにより、開放性、透明性といった研究環境の基盤となる価値が損なわれる懸念や研究者が意図せず利益相反・責務相反に陥る危険性が指摘されている。

■ 本学においても、研究インテグリティを確保するため必要な事項を定め、国際的に信頼ある研究環境を構築する。

※研究インテグリティ・・・上記のリスクに対して新たに確保が求められる研究の健全性・公正性



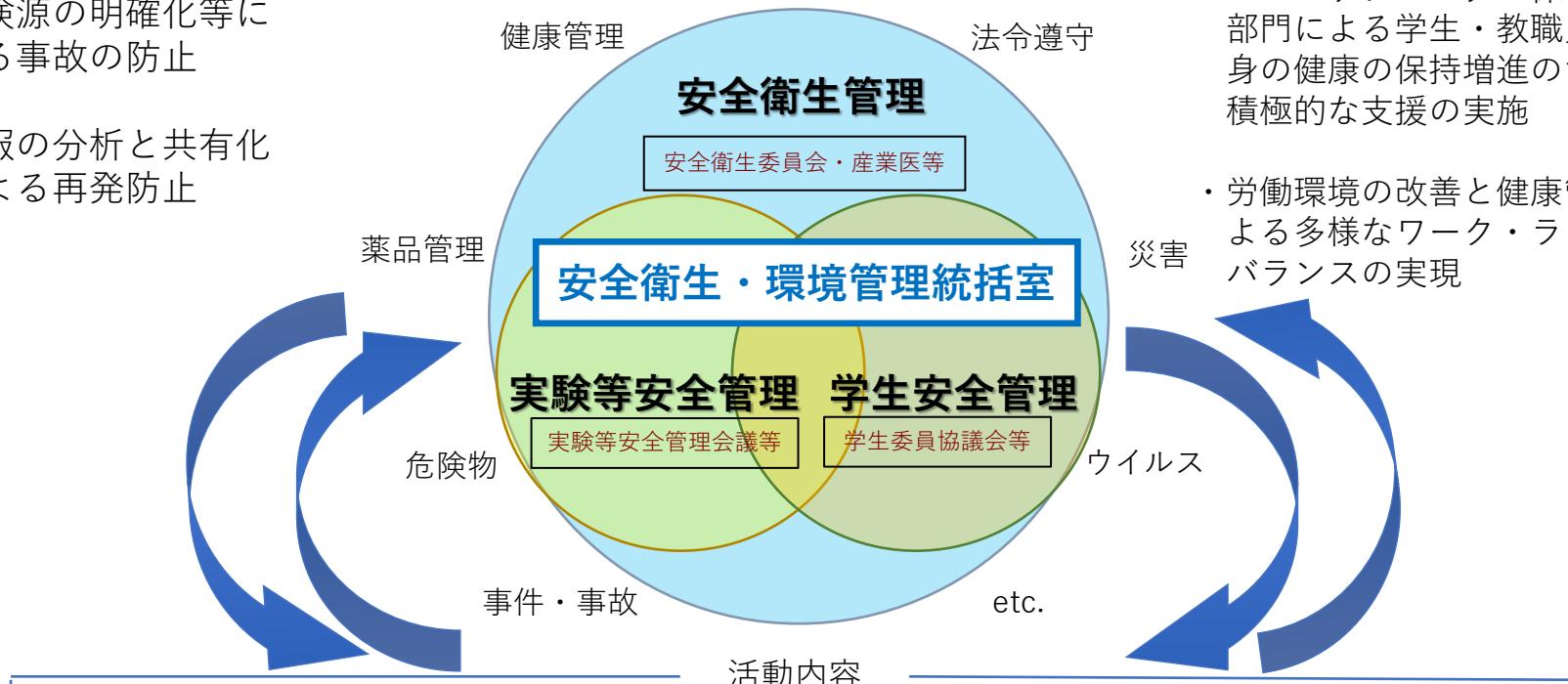
# 安全衛生についての機能強化

(安全衛生・環境管理統括室)



- ・危険源の明確化等による事故の防止
- ・情報の分析と共有化による再発防止

## 【取り巻く環境と体制】



- ・インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター保健管理部門による学生・教職員の心身の健康の保持増進のための積極的な支援の実施

- ・労働環境の改善と健康管理による多様なワーク・ライフ・バランスの実現

安全衛生方針	定期健康診断	事故報告	放射性物質取扱い管理	健康情報の提供
ストレスチェック	特殊健康診断	化学物質管理	各種講習、研修	感染症症状届出
安全の手引き	作業環境測定	遺伝子組換実験管理	法令届出義務情報	AED情報

Webに情報を集約

安全衛生に関する情報を整理し、安全で衛生的に活動するための規則やルールなどの共有化を容易にすることで、全学の安全衛生意識を高め、活動を活発化する

# 災害危機管理

## 災害危機に対応するための取組

### \* 関連学内規則、危機管理マニュアル等の整備

- ・国立大学法人神戸大学危機管理規則
- ・神戸大学危機管理委員会規程
- ・神戸大学危機管理基本マニュアル
- ・神戸大学学生対応危機管理マニュアル
- ・国際交流危機管理対応マニュアル（日本語版・英語版）
- ・防災ポケットガイド（日本語版・英語版）など

### 災害時の危機に備える対応の柱

#### \* 大地震による被災を想定した事業継続計画（BCP）の策定

学生・教職員・来訪者等の生命及び身体の安全確保を最優先するとともに、学内資産の保全、教育・研究等の継続又は速やかな再開を目指し、地域社会の復旧・復興に寄与する。本学への影響が最も大きいとされる災害・日時を想定して策定。

#### \* 神戸大学安否確認システム（ANPIC）

大規模災害発生時の安否確認作業を迅速かつ確実に実施するため、安否確認システム（ANPIC）を導入。緊急時には、あらかじめ登録したメールアドレス宛てにANPICから安否確認メールが送信され、受信者が入力した安否情報はシステム管理者が隨時確認できる。

(平常時における危機管理)

### 危機管理委員会

#### 【構成員】

- 委員長：学長
- 副委員長：学長が指名する委員
- 委員：理事

#### 【任務】

リスク分析と対応策  
(①危機を未然に防止、②危機発生時の準備) の検討及び実施

(危機的状況の発生)

危機が発生し、又は発生する場合において、危機対策を講ずる必要があると判断する場合は、速やかに危機対策本部を設置する。

(緊急時における危機管理)

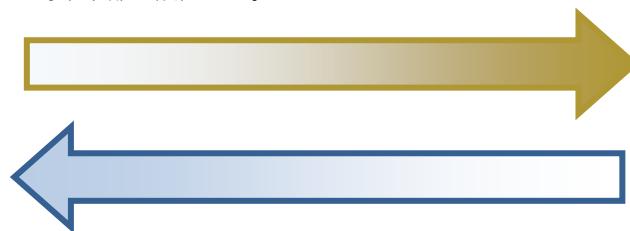
### 危機対策本部

#### 【構成員】

- 本部長：学長
- 副本部長：本部長が指名する理事
- 本部員：理事、事務局長、監事、必要に応じて関係する部局等の長

#### 【任務】

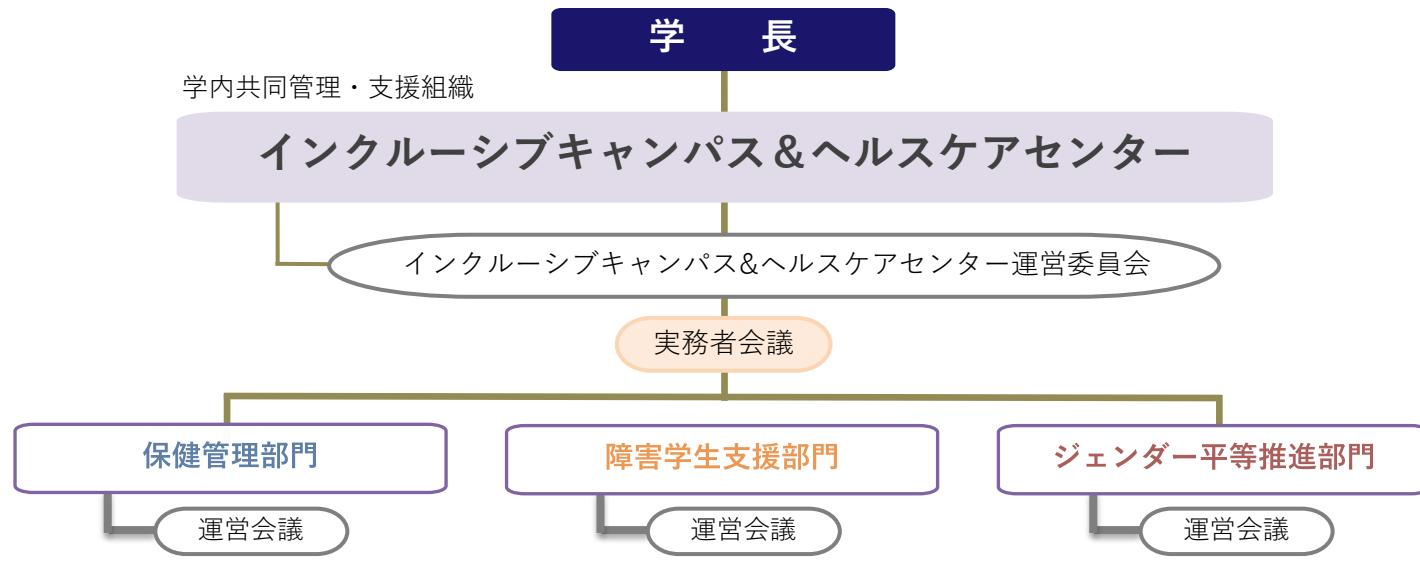
危機発生の収束に向けての緊急対応を行い、被害を抑える。



# ダイバーシティ＆インクルーシブキャンパスの形成について



インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンターは、本学学生及び職員の健康の保持、増進を図るとともに、多様な属性の違いを活かし、個々の能力を最大限に引き出すため、本学におけるダイバーシティ及び保健管理に関する先導的組織として、諸施策を推進する。



相談に基づく大学への提案	構成員向け各種サービスの提供	学内、地域に対する啓発活動
構成員からの各種相談への対応  相談 → ニーズ把握 → 調査 → 提案	構成員の健康サポート、 キャンパスのバリアフリー化、 構成員のワークライフバランス支援、 LGBTQI+への対応  等	FD・SD研修、各種全学共通授業 社会へ向けてのイベント、シンポジウム、 公開講座などの開催・情報発信
多様な性・ジェンダーに関する基本方針とガイドラインの見直し		インクルーシブキャンパスに向けた環境整備



全構成員のためのインクルーシブキャンパスの実現

# インクルーシブキャンパスの実現

## 保健管理部門

神戸大学の長期ビジョンを実現するために、構成員一人ひとりが教育研究・業務に持てる力を最大限に発揮できるよう、学生、職員等の健康の保持、増進を図る

### ●産業医活動

- ・9事業場の産業医職場巡回を実施
- ・安全衛生委員会での意見陳述
- ・調査指示・勧告を実施
- ・病気休職者の復職支援
- ・過重労働者の面接
- ・ストレスチェックの実施と面談

### ●健康相談や面接指導

- ・急病や外傷などに対する救急処置
- ・健康診断の結果に基づく再検査、精密検査についての相談
- ・医師、心理士によるメンタルヘルス支援
- ・交換留学生の来日前の健康支援相談
- ・性・ジェンダーに関するこころの健康相談
- ・外部医療機関への紹介

### ●各種健康診断の実施

- ・学生・職員の一般健康診断や特殊健康診断の実施
- ・診断結果に基づく就業判定や保健指導等の事後措置
- ・外部医療機関への紹介
- ・大学生無料歯科健診の後援

### ●ハラスメント相談対応

- ・ハラスメント相談員として学生・職員のハラスメント相談に対応
- ・保健管理部門長はハラスメント防止・対策本部の構成員として関与

## 障害学生支援部門

障害のある学生への適切な修学上の支援を提供するため、学部・研究科や学外機関と支援情報の共有や連携を行い、全学的な立場から障害やアクセシビリティに関する理解促進・意識啓発を図る

### ●学生への合理的配慮

- ・障害のある学生に教育機会の均等を確保するための支援
- ・障害に応じて行う配慮について、学生と学生所属組織双方における建設的対話に向けたサポート
- ・持続的な支援を行うための支援機器等を利用したシステムの構築

### ●障害の社会モデルやアクセシビリティに関する理解促進・意識啓発

- ・全学共通授業科目「アクセシビリティリーダー論Ⅰ」の開講
- ・学生サポーターに向けた研修会、支援技術の学習会の実施
- ・障害者の避難を想定した避難具の利用体験会の実施
- ・実践的なFD/SDの実施
- ・教職員向けに障害やダイバーシティの理解を促すe-learningの提供

### ●学内外関係機関などとの連携・協働支援

- ・他大学と連携した本学支援者の質向上のための共同研修
- ・インクルーシブを題材に企業と連携し、学生及び教職員を対象としたワークショップの実施
- ・外部団体と連携し、インターネットを活用した遠隔文字通訳を学ぶPCノートテイク研修会の実施

## ジェンダー平等推進部門

神戸大学の全構成員においてジェンダー平等が確立され、ジェンダーを問わずワークライフバランスが保たれ、誰もが安全で安心して学修・研究・就労できるインクルーシブキャンパスを実現し、その施策を社会のダイバーシティ＆インクルージョンの実現のために発信する

### ●女性研究者の活躍推進

- ・女性教員在籍比率23%に向けた取組（女性教員採用部局への経費やポイントの支援）
- ・女性リーダー育成推進室と連携して女性研究者の昇任及び研究力向上を目指した支援
- ・女性研究者の在籍・採用・昇任比率の公開等
- ・次世代女性研究者の育成

### ●構成員のワークライフバランス支援

- ・子育て中や介護中の構成員のための支援
- ・ゆとりのある働き方に向けた就労環境調査と提言

### ●多様な性・ジェンダーに関する相談情報発信

- ・全学共通授業科目「ジェンダーとセクシュアリティ」の実施・ジェンダーの視点から災害に関する教育・研究の推進
- ・多様な性・ジェンダーに関する相談及びセミナーの実施
- ・ダイバーシティ＆インクルージョンに関するセミナーの開催